

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

複数施設研究用

以下、本文-----

COVID-19 流行前後の RSV 感染症の臨床像の変化に関する多施設共同研究

1. 研究の対象

2019年1月1日～2021年12月31日に、当センターおよび協力施設において、RSV感染症と診断され入院加療を要した方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

- ・研究目的：COVID-19 パンデミック前後の RSV 感染症の臨床像や疫学情報の変化をいち早く伝えること、乳児例だけではなく幼児初期でも初感染で重篤化する可能性があるかを検討することを目的とし、当センターおよび協力施設における COVID-19 流行前後の RSV 感染症入院症例のデータを収集し解析を行う。
- ・研究方法：名古屋大学医学部附属病院小児科を情報収集の中心とした多施設共同研究として行います。2019年1月1日～2021年12月31日に、RSV と診断され入院を要した方の臨床情報を後方指摘に検討します。
- ・研究期間：2021年12月17日（実施承認日） ～ 2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から調査した以下の情報です。

診断時年齢、性別、入院日数、入院時の SpO₂、入院時の呼吸数、入院時の体温、呼吸補助の有無、呼吸補助の種類、ICU 入室の有無、パ립ピズマブ投与の有無、パ립ピズマブ投与理由、基礎疾患の有無、肺炎の有無、ステロイド使用の有無、抗菌薬使用の有無、合併症の有無

4. 外部への試料・情報の提供

名古屋大学のデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究機関： あいち小児保健医療総合センター（鈴木基正）

- ・協力施設：名古屋大学医学部附属病院小児科（川田潤一）、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（大城誠）、厚生連安城更生病院（久保田哲夫）、岡崎市民病院（長井典子）、碧南市民病院（土井悟）、トヨタ記念病院（原紳也）、名古屋掖済会病院（星

野伸)、春日井市民病院(河邊太加志)、中津川市民病院(木戸真二)、名古屋記念病院(長谷川真司)、公立西知多総合病院(青嶋努)、名鉄病院(渡邊修大)、大垣市民病院(倉石健治)、愛知医科大学(倉橋宏和)、公立陶生病院(森下雅史)、半田市民病院(篠原修)、江南厚生病院(西村直子)、豊田厚生病院(梶田光春)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 総合診療科 担当者名 鈴木 基正

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター総合診療科 鈴木 基正

研究代表者：名古屋大学医学部附属病院小児科 川田 潤一

-----以上